

# AI時代に備える

## ―皆野町が進める読解力の向上―

**なぜ読解力が  
重要なのか**

近い将来、AIが人間の仕事を奪うともいわれており、世界中で目まぐるしく発展する技術を目の当たりにすれば、あなたがち過言ではないと考えられます。

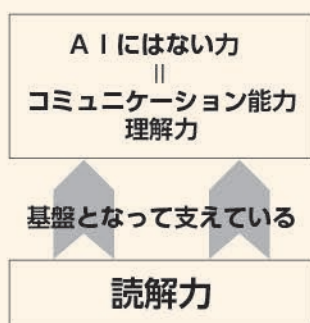
新井教授の著書、「AI vs 教科書が読めない子どもたち」では、将来10年から20年の間に、人間がAIに仕事を奪われ、なくなってしまう職業があるとされています。このような状況になると、この先社会に出ていく子どもたちに、「AIにはできないこと」を身に付けさせ、またその力を伸ばすことが、これからの教育に求められていくことは間違いないでしょう。

では、AIにはできないこととは何かを考えてみます。

AIは、データや統計から物事を判断する力はあっても、対話やコミュニケーションで物事を理解することはできないでしょう。

人間だからこそできる対話やコミュニケーションが必要な職業は、AI時代になっても、残るであろう職業だと考えられます。

将来のAIの普及による職業の変化に対応していくには、コミュニケーション能力や理解力の基盤となる、読み解く力、理解する力つまり、「読解力」を育み伸ばしていく必要があると考えています。



## リーディングスキルテスト (RST)とは



皆野中学校でのRST受検風景

テストはコンピューターで実施します。文章を読み解く力が試される問題がたくさん出題されます。集中力も必要です。

文章全体の読解のプロセスは、「文字・単語」、「文」、「談話」の3つの処理レベルに大きく分けられ、この中の「文」レベルの正確な読解ができるかどうかを診断するものです。

診断結果を生徒や学校にフィードバックし、結果を活用し読解力向上の課題を見つけ出し、授業に反映させていきます。

## 皆野中学校での取組

皆野中学校では、平成31年2月に、全校生徒230人が受検しました。

また、教職員やPTA会長、学校評議員などにも受検してもらうことで、大人にもどういうテストなのかを知ってもらい、読解力の大切さを体験していただきました。受検したかたは、「子どもより成績が悪いと、かっこ悪い」というような感想を持ちながらも、大人になっても必要な能力であることを体感したのではないのでしょうか。

## 学力向上は、目的ではなく手段

夢や志を抱き、その実現に向けて努力する。

学力向上はその手段でなくてはならないという認識のもと、AIの時代に大人になる皆野町で育った子どもたちが、AIにはできない読み解く力、理解する力を持つて未来を切り拓き、夢をかなえ、社会に貢献していく姿を期待してこのような先進的な教育に取り組んでいます。